

市政に対する

一般質問

そこが... 聞きたい



平成十八年十二月定例市議会は、十二月七日から二十一日までの十五日間の会期で行われました。

市長からは、一般会計補正予算、羽生市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例、埼玉県後期高齢者医療広域連合の設立について等の議案九件、議員からは羽生市議会会議規則の一部改正、羽生市議会委員会条例の一部改正の議案二件が提出され、いずれも原案のとおり可決、承認、同意されました。

今期定例会における市政に対する一般質問は、十一人の議員によって三日間にわたり行われました。

南羽生駅舎の橋上化について

岡戸 稔議員

・質問 南羽生地区は区画整理事業も完成し、今後、イオンを中心に発展する地区である。しかし、南羽生駅の整備は近隣の花崎、鷲宮駅よりた遅れている。

そうした中、朝の通勤・通学時など、踏み切りが鳴っているところに、電車に乗り遅れまいとする光景を見るたび、事故防止の観点からも橋上駅舎の必要性を痛感する。市の考えを伺う。

・答弁(企画財政部長)

南羽生駅の駅舎整備について

では、橋上化する場合十五億から二十億円が必要になると考えられる。また、南羽生駅を東西に結ぶ自由通路だけを整備する場合でも、七億円程度は必要になると想定している。そして、利用者の利便性を考慮し、東口に新たに改札口を設けるとなると、改札口に配置をする駅員の人員費や施設の管理費の問題もある。これに対し東武鉄道は、従来より改築や踏切等の拡幅に關しても、地元自治体の請願であり、その際の費用は、請

願者負担と考えている。

このため、早期に南羽生駅の整備に取り組む場合には、事前に相応の基金積立が必要となってくる。

一方、市は今後ごみ処理施設をはじめ、公共施設等の改築に順次対応していかなければならない状況にある。

その中で、市債の繰上償還や、基金積立を行い、後年度事業に備えるなど、自主自立都市の再構築に向けて全力で取り組んでいる最中である。

今後、行財政改革に取り組む中で、南羽生駅の改築について、重要課題として取り組んでいきたい。

その他の質問

・太陽光発電について



南羽生駅東口駅前広場

議会の詳細は 市議会会議録 をどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年四回開催される定例会ごとに本会議で行われた一般質問や議案質疑の主な内容、答弁などをお知らせしています。なお詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、市議会で発行している「羽生市議会会議録」をご覧ください。

平成十八年十二月定例会までの会議録は市議会図書室(市役所四階)、市立図書館、各地区公民館に備え付けてあります。

また、本年度から市議会会議録が、ホームページでも閲覧できるようになりました。平成十八年度以降の会議録がご覧になれますので、ぜひご利用ください。